

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で19,000cells/ml、ケラチウム属が最高で7cells/ml、シャットネラ属が最高で26cells/ml確認されました。

カレニア・ミキモイは中学校前から水試小割前にかけて漁業被害が想定される細胞密度を超えています。

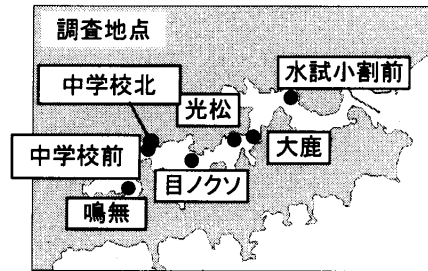
カレニア・ミキモイは降雨等により、今後も増殖する危険性があります。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	ケラチウム属	シャットネラ属	珪藻類
中学校前 透明度:1.6m	1m*	1,200	3	6	2,400
	2m	1,420	4	0	500
目ノクソ 透明度:2.0m	1m*	30	0	3	2,800
	2m	3,800	7	1	400
光松 透明度:1.4m	0.5m*	7,400	0	0	200
	2m	15,200	0	0	400
大鹿 透明度:1.2m	1m*	19,000	2	2	400
	2m	9,600	1	1	500
水試小割前 透明度:2.4m	1m*	6	0	0	9,600
	2m	1,125	0	0	650
鳴無	0.5m*	113	0	26	
中学校北	1m*	12,900	1	8	

*クロロフィル極大層



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属:
100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・シャットネラ属:
10～100cells/ml(魚類のへい死)